

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立小鹿野高等学校 )

N08

|        |   |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 総合学科高校として、生徒の「学力・人間力・思いやり・創造性」をはぐくむ、地域に愛され、期待に応える学校 |
|--------|---|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 基礎から発展まで確かな学力の育成<br>2 総合学科の特色を生かしたキャリア教育の充実と進路実現<br>3 規範意識の醸成と規律ある生活習慣の確立<br>4 生徒の人間力を高めるための地域連携と開かれた学校づくりの推進 |
|------|---|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |   |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者    | 名 |
|     | 生徒       | 名 |
|     | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |  |   |   |           |     | 学校関係者評価     |          |
|-------------|--|--|---|---|-----------|-----|-------------|----------|
| 年 度 目 標     |  |  |   | 年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )   |           |     | 実施日         | 平成 年 月 日 |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方策   | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |          |
| 1           | <b>【現状】</b><br>授業規律及び学習環境は維持できている。一方で、学習面で課題を抱えた生徒がおり、きめ細かな対応が求められている。<br><b>【課題】</b><br>・基礎学力向上のための授業改善及び研修会の充実<br>・学習面でのつまづきの解消  | 社会に開かれた教育課程を踏まえた、基礎学力及び学習意欲の向上               | ①整理整頓、チャイム着席の指導徹底(学年・教科等)<br>②社会人として必要不可欠な基礎学力育成に向けたマンデレソン・スキルアップトレーニングの実施(進指部・学年等)<br>③少人数制を生かした個別指導(教科)<br>④学校運営協議会の意見や次期指導要領の内容を共有及び活用(全体)           | ①「びかークラス」1位クラスの平均点前年度比増<br>②各講座への出席率(%)<br>③授業アンケートの満足度 85%<br>④共有した回数        |           |     |             |          |
| 2           | <b>【現状】</b><br>生徒の進路希望は多様であり、個に応じた指導が求められている。<br><b>【課題】</b><br>・自らのキャリアについて興味関心を持ち、適性を知り、その能力を伸長する。<br>・進路指導における生徒・保護者のニーズの把握   | 総合学科教育課程を生かしたキャリア教育により進路意識を向上させる             | ①適切な進路・科目選択に向け総合学科の核「産業社会と人間」を実施(1学年)<br>②組織間で情報共有を密に行い、進路ガイダンス等の進路行事を連携して実施(進指部・学年)<br>③自立支援事業を活用した SST の実施(1学年)<br>④進路講演会の工夫実施(進指部等)                  | ①生徒保護者アンケート満足度<br>②生徒保護者アンケート満足度<br>③実施回数 3 回<br>④生徒保護者アンケート満足度               |           |     |             |          |
| 3           | <b>【現状】</b><br>小規模校のメリットを生かし、教職員は意欲的に情報共有して、個々の特性・状況に応じた指導を行っている。一方で、遅刻者数については昨年度増加。<br><b>【課題】</b><br>・地域の人材を活用した教育相談体制の強化<br>・基本的生活習慣の改善   | 主体的に規律を守る態度・意識を育成する                          | ①チャイム to チャイムの授業を実施(全体)<br>②手帳を活用したタイムマネジメントの指導(学年等)<br>③特別支援教育推進事業を活用し SC や巡回支援員等と密に連携した教育相談体制を構築(教相委・学年等)<br>④警察署等と連携した登校指導バイク指導等(生指部)                | ①生徒保護者アンケート結果<br>②遅刻者の割合前年度比減<br>③生徒保護者アンケート満足度 75% (教育相談体制)<br>④合同実施回数 7 回以上 |           |     |             |          |
| 4           | <b>【現状】</b><br>今年度コミュニティ・スクールとなり、地域との協働による教育活動を促進できる体制が整えられた。<br><b>【課題】</b><br>・学校や地域にとって WIN-WIN な活動が実現できるよう、互いの課題や目標等を十分に共有する。<br>・学校の課題や取組等の情報が保護者や地域に確実に届くよう、情報発信の方法について工夫改善する。 | コミュニティ・スクールとして、地域との連携を強化し、生徒の成長につながる取組を推進する。 | ①社会性の育成に向けボランティア活動等、地域活動への積極的な参加を促す(学年等)<br>②地域貢献として小鹿野未来塾、公開講座等を実施し本校理解を促す(教科等)<br>③学校運営協議会と連携した教育活動の実施(評運委)<br>④HP の積極的な更新、広報誌発行、全職員による中学校訪問の実施(教務部等) | ①地域活動の参加取組<br>②参加者アンケート満足度<br>③改善更新した取組数<br>④HP 日誌掲載回数                        |           |     |             |          |